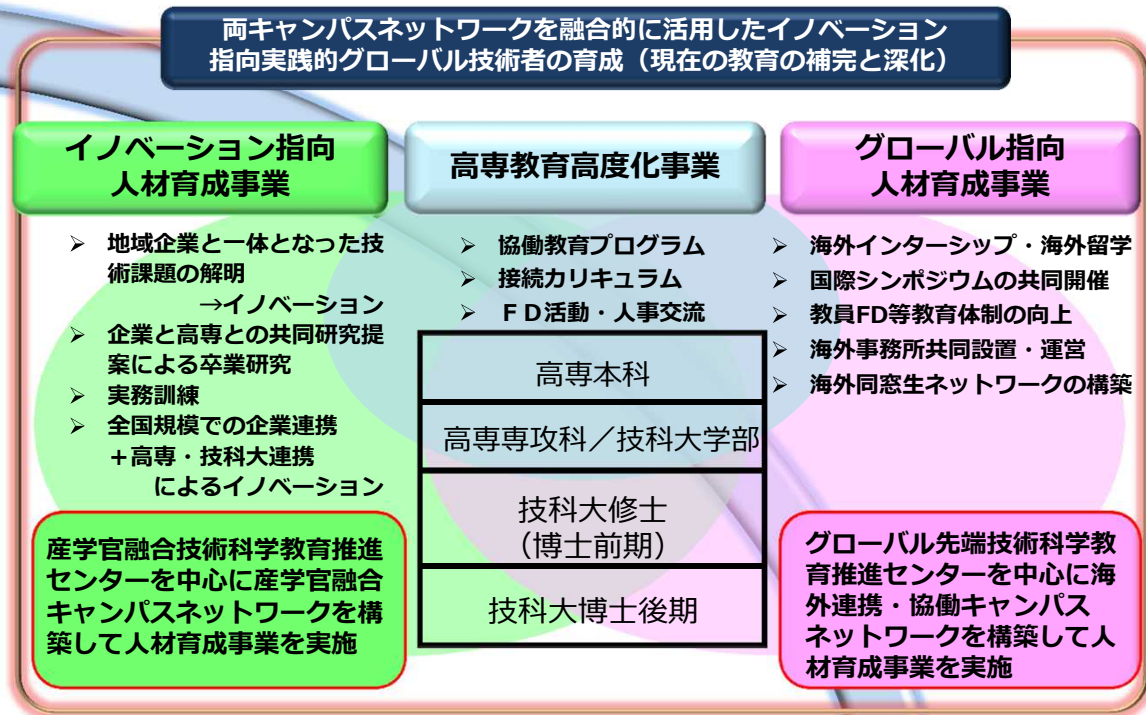
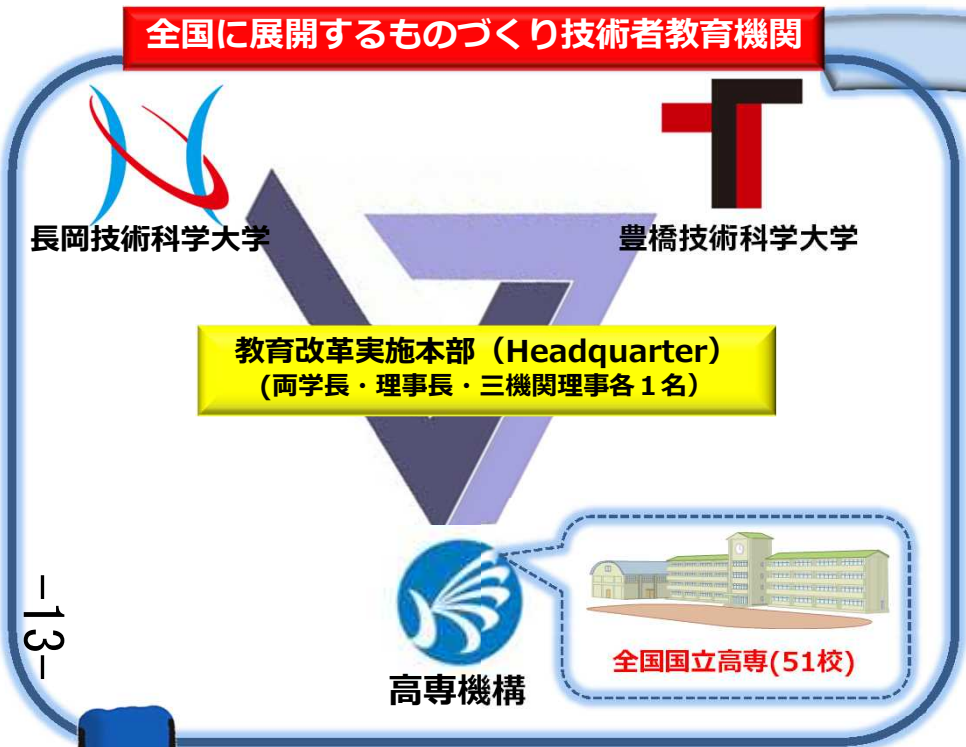




3大学(千葉・金沢・長崎) 革新予防医科学共同大学院の設置

次世代へ健康をつなぐスーパー予防医科学
～22世紀へ向けて 健康で豊かな長寿命社会を実現する医学の構築～

- ・歯止めの利かぬ医療費の増加
- ・生活習慣病, 免疫疾患, 精神・神経疾患に伴う社会的損失の増大
- ・疾患の慢性化による罹患者のQOL低下

⇒ 誰もが健康で豊かな生活を送るための「革新的予防」が必要

「革新的な予防法の開発」と「新しい早期診断法の開発」は
第4期科学技術基本計画においても明記

スーパー
予防医科学

3次予防
疾病の再発予防

2次予防
疾病の早期発見

1次予防
生活習慣と環境

0次予防
遺伝子と疾病リスク

免疫疾患
シクハウス症候群

生活習慣病
糖尿病・がん

精神・神経疾患
アルツハイマー病・
自閉症・うつ

<標的疾患>



STEP 1

革新予防医科学共同大学院の設置

2013

各大学の特徴と強みを融合



マクロ環境医学

- ・免疫環境医学
- ・ケミレスタウン



ミクロ診断学

- ・DNAチップ診断
- ・テラメイト予防医学



放射線健康リスク制御

- ・国際放射線保健医療研究
- ・原爆医療研究

能登
(23万人)
村落部

五島
(6.5万人)
離島

柏・西千葉
(40万人)
都市部

括弧内の数字は
当該地域の人口

共同教育センターの設置

フィールドの共有化・
新規開拓(国内・海外)
共用データベースの構築



国際水準の研究環境・基盤の形成

- ・先端研究設備・研究フィールドの共用化の促進
→国際水準の研究環境を継続的に維持
- ・共用バイオバンクの構築
→「教育研究インフラ」の構築・展開

大学連携の拡大と

日本発革新予防の国際標準化へ

健康・医療・環境に関する地球規模の課題を
解決に導く人間性豊かな人材の育成・輩出

国民のQOL向上・医療費の大幅な削減

新しい早期診断法の開発

STEP 3

- ・早期診断技術の効果検証
- ・共通フィールドにおける予防法の検証

ス・パ・予防医科学実践人材輩出

STEP 2

- ・網羅的生体分子情報の解析
- ・分子情報解析に基づく病因の特定
- ・住民・患者の協力による効果検証

2016

革新的な予防法の提供

2021

世界を牽引する
「スーパー予防医科学」
教育研究拠点形成

早期診断精度の向上
予防法の開発と効果検証

ヘルスケア産業の創出

- ・科学的根拠に基づく健康食品開発
- ・診断機器・診断プログラムの開発

アジアを中心とする国際人材育成と大学連携による国際化の加速度的推進

